

# 移動市長室



ふつかいちひがし  
二日市東コミュニティ運営協議会

## 安心のまちづくりで 地域に笑顔を

通算114回目となる移動市長室を、9月29日(木)に二日市東コミュニティセンターで開催し、二日市東コミュニティ運営協議会の役員など10人と懇談を行いました。

### 市笑顔でつながる二日市東

二日市東コミュニティは、二日市東小学校区の13行政区で構成されています。市の中央部に位置し、世帯数と人口はそれぞれ1万4900世帯、2万2651人です。(令和4年9月末時点)  
二日市東コミュニティ運営協議会(二東コミ協)は、平成26年12月に設立しました。「みんな笑顔でつながる安心のまち」をスローガンとし、一人でも多くの住民が笑顔になるよう地域づくりを進めています。



### 市地域に安心を届けたい

二東コミ協では、重点事業として地域包括ケアシステムの推進に取り組んでいます。2年前から市社会福祉協議会や民生委員などと協議を重ね、高齢者の見守り体制「二東あんしん届けたい」を構築しました。これは、隣組長が広報紙を各家庭に配布する時に高齢者宅の様子を気にかかけ、異常があれば区長などに報告するもので、モデル地区での試行を経て今年度から二日市東コミュニティ全体に導入されました。

継続することを重視し、まずはできることからとあえて対象者を絞ったそう、役員は「これをきっかけに見守りの輪を広げていき、より具体的な支援体制へ発展させていければ」と話しました。

### 市人の縁をつなぐ50周年に

市制施行50周年を記念し、二東コミ協でも多くの事業が企画されています。9月23・24日には初めてのイベントとして「おやこでチャレン

「防災キャンプ」が実施されました。(30ページ参照)この企画には、地域の防災士が活躍したといえます。

11月に行われる文化祭では、2年ぶりのバザーに加え、保育所慈生園のマーチングバンド、筑紫高校吹奏楽部による演奏が予定されています。

50周年事業でさまざまな人と関わる中で、改めて縁の力を実感しているという皆さん。「節目の年を地域全体でお祝いし、活気を取り戻したい」と笑顔を見せました。

## 声変化を受け入れて

感染症の影響で活動が制限されながらも、「事業をやめてしまうのは簡単だけど、今こそ地域のために」とできることを模索していった二東コミ協の皆さん。そうして生まれた新しい取り組みの一つが、冬に二日東コミュニティセンターを彩るイルミネーションです。訪れた人が視覚的に楽しめるようにと企画されました。

二東コミ協会長の宮崎 武さんは、「コロナによる社会の変化に合わせ、まちづくりも見直していく必要があると思います。大変なこともあるけれど、地域のために頑張っていきたいです」と意気込みを語りました。

## 参加者からの感想

- 市長から激励をいただき、これからの活動のエネルギーになりました。
- メンバーの熱意を再確認できました。これからも市と連携してまちづくりのために頑張っていきます。



## 藤田市長の一言



二東コミ協の活動内容をつぶさにお聞かせいただいて、皆さんがいかに地域を思い、地域のために熱心に活動されているかが伝わってくる移動市長室となりました。各部会が協力し合いながら、地域包括ケアシステムを含めた地域課題に取り組んでおられ、行政として非常にありがたく感じました。

これからも、子どもから高齢者まで元気で和やかに過ごしていける筑紫野市のために、皆さんのお力添えをいただきたいと思えます。

本日は心に残る素晴らしい発表をいただき、ありがとうございました。今後の行政にしっかりと生かしてまいります。